

小平市議会定例会 一般質問通告書

質問の方式 一問一答方式

質問件名 まちの暮らしが見える統計データや調査のあり方について

【質問要旨】

市の施策において、人口動態をはじめとする統計や各種調査は政策根拠のひとつとなります。折しも国勢調査の真ただ中ですが、ほかにも経済センサスや交通センサスなどのデータも私たちの目にしばしば触れるところです。

基礎自治体である小平市では、こういった国レベルでの調査データや推計方法による数値、市の平均数値を用いるだけでなく、さらに細かな数字で捉えなおしたり、目に見える動きと併せて分析したりすることも非常に重要だと感じます。人口推計については、推計方法に実際に見えている開発の状況が加味されているのか気になります。高齢化率は、町丁ごとの数字を決算参考資料集に掲載することを会派として昨年提案しましたが、こうした「目に見えるまちの様子」は、コミュニティづくりにとって参考になると考えます。また、調査ということでは、先日、環境建設委員会で視察に訪れた高槻市では市独自の交通調査を行い自転車施策に役立てています。

もちろん、政策はすべて数値によるものでもなく、まして「大きい数字」が優先されるものでもありません。だからこそ、統計データや調査に理論値だけでない小平の暮らしの様相が反映されることがたいせつだと考えます。効果を生む統計や調査のあり方について、以下質問をします。

- ① 今後、市の施策に用いられていく人口推計数値と現在策定中である人口ビジョンとの関係は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定のための意識調査は、ほかの行政計画にも活用されていくのか。
- ② 国の法律に基づく行政計画策定のための調査やセンサスのための統計を除いて、小平市が独自で行っている前述レベルの調査や統計にどのようなものがあるか。
- ③ 公共施設マネジメントや子育て・介護施策の充実のために、行政サービスや保育介護施設の地域分布と量の関係について、数値化や分析が必要ではないか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第 57 条第 2 項により通告します。

2015 年 11 月 19 日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 日向 美砂子

受付番号【 】

26	25	24	23

— (/)